

わた どり かんさつ 渡り鳥を観察してみよう！



あき ふゆ 秋～冬にかけて、ロシアなどの北国から日本に飛んでくる鳥がいます。「渡り鳥(冬鳥)」といって、暖かくなるとまた北国に飛びたってしまうため、この時期にしか見ることが出来ません。この機会に野鳥観察をしてみましょう。



しゅうだん ▲カモは集団でやってきます

みじか ぶゆどり 身近な冬鳥たち



み 見つけたら はな 離れて かんさつ 観察してね
みずべ 水辺を さんぽ 散歩すると、であえるカモ!?



■マガモ (オス)



■ヒドリガモ (前:オス 後:メス)



■オナガガモ (前:オス 後:メス)



■ハマシギ



■ユリカモメ



■キンクロハジロ

なぜ遠い国から飛んでくるの？

いちばん りゆう 一番の理由はエサだと考えられています。ロシア等の寒い地域では冬に水面が凍ってエサがとれなくなってしまうので、渡り鳥は日本などの温かい国に移動してエサをとります。逆に、夏に日本で昆虫やカエル・ミミズ等を食べているツバメ・タカ等の鳥たちは、冬になってエサが少なくなる前に、南の国へ行ってしまう（これを夏鳥といいます）。

冬鳥: 秋・冬に日本へ



夏鳥: 春・夏に日本へ

ちようじゅうほごく なん 鳥獣保護区って何だろう？



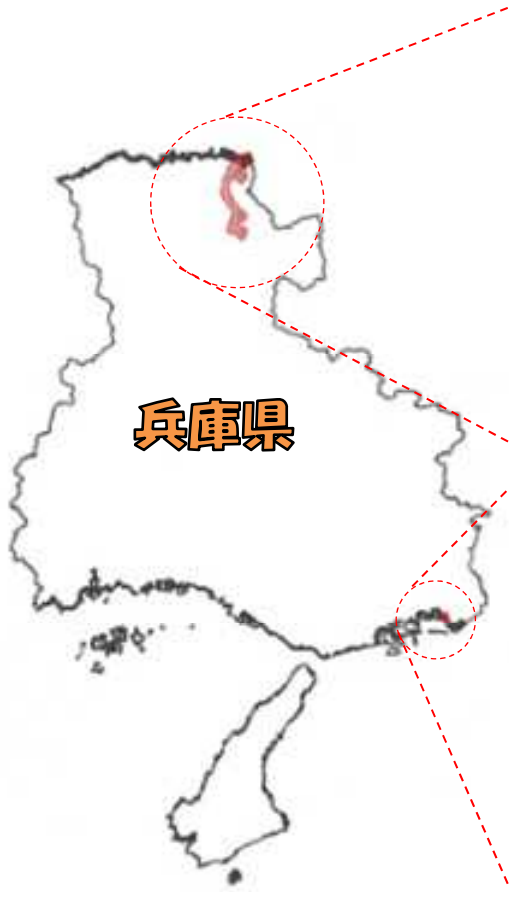
日本に住んでいる鳥や動物を守るために、その生き物たちが暮らしている場所を保護区として指定する制度です。環境省の「国指定鳥獣保護区」の「県指定鳥獣保護区」の2つがあり、どちらとも野生鳥獣の保護のため、原則として狩猟を禁止しています。

私たちアクティブ・レンジャーも環境省職員として鳥獣保護区パトロールをしています。



狩猟はNG

兵庫県内の国指定鳥獣保護区を紹介



まるやまがわかりゅういぎちようじゅうほごくとよおかし
円山川下流域鳥獣保護区（豊岡市）



国の特別天然記念物であるコウノトリの生息地として特別な場所です。周囲の水田や湿地にはカエルやドジョウなどコウノトリの餌となる生き物がたくさん生息し、親鳥やヒナが餌をとる場所として、とても重要です。鳥獣保護区内にはコウノトリだけでなく、ハヤブサやオオタカなど、全部で172種類もの鳥類が確認されています。

はまこうしえんちようじゅうほごくにのみやし
浜甲子園鳥獣保護区（西宮市）



鳴尾川が海と合流するところできた、大阪湾に残る数少ない干潟の一つです。飛行機の滑走路や、遊園地の一部だったこともあります。美しい自然海岸は地域の人たちの協力によって守られ、たくさんの野鳥が餌をとる場所として利用しているだけでなく、カニ・エビなどの色々な生き物のすみかとして、重要な役割をはたしています。

アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。

自然の中で遊ぶ出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL：078-331-1146 FAX：078-331-1148
竹野自然保護官事務所 TEL：0796-47-0236 FAX：0796-47-0249

